

内ヶ崎浩一郎 うちがきこういちろう 英文學者。明治二十六年五月十五日東京市小石川區白山生れ、昭和九年四月一日歿（一九三一年）。内ヶ崎作三郎の長男。昭和二年早稻田大學文學部英文科卒。英語・英文學の他に古典ギリシヤ語を學び、本間久雄指導の下もと文藝批評の研鑽に従ふも、卒業後幾許いくばくもなく病を獲、爾來療養生活。

遺稿集『ロラスキン研究その他』（昭和十一年五月二十日内ヶ崎作三郎刊）には、卒業論文『ロラスキン研究』の他、『希臘劇と能との環境』、『ゴールドスミスの『ロヴァイカー・オブ・ヴェクアイールド』』や、野崎光一郎の筆名で雑誌『青磁』に發表した小説『歪んだ家』を収録、更に家乗、追悼集を附載してゐる。



ロラスキン研究その他 内ヶ崎浩一郎遺著